

県と協同、決意新たに！

長崎県の宮崎環境部長をはじめ、自然環境課の皆様を訪問しました。宮崎部長からジオパーク発展に向けて激励を頂き、身の引き締まる思いがしました。

本年度は島原半島の日本ジオパーク認定10周年の年にあたり、県と共催で本年11月にシンポジウム開催を予定しています。



長崎県環境部へご挨拶 =新県庁、長崎市



月に1回集合。メンバーは、県 自然環境課、島原鉄道(株)、(株)島原観光ビューロー、(一社)島原半島観光連盟、ジオ事務局

観光で地域を潤す

平成29年8月、ツアーリズムワーキンググループ島原版が発足しました。これは、お客様が魅力を感じ、かつ利潤を生む企画を実施することを目的に、民間企業にも参加してもらいました。

昨年度は、民間とジオパークの意識の溝を埋める助走期間。今年度は、「さるく」や、交通機関を活用して本格的に観光に参入していきます！

フレッシュな新戦力、ジオパーク飛躍の鍵！



■新メンバーのご挨拶■
森本 拓(専門員)

大学で専攻した地理学を活かし、自然と暮らしをテーマに島原半島の魅力を地域の皆さんと寄り添いつつお届けします。それと共に島原半島の良さを地域の皆さんから多く学びたいです！

本多 紘大(島原市)

島原半島の更なる魅力を半島内外にお伝えできるよう地元の方々と共に楽しみながらジオパーク活動に取り組んでいきますので、宜しくお願います！！

ジオだより

発行所
島原半島ジオパーク協議会事務局
E-mail
info@unzen-geopark.jp
TEL
0957-65-5540
創刊 2017年12月1日

4月7日(土)と8日(日)、平成30年度長崎大学環境科学部新入生合宿研修が開催されました。この研修会の中で、ジオ専門員が、ジオパークプログラムの目的やジオパークの視点で島原半島の見所を、クイズを交えて紹介しました。

また、認定ジオガイドが旧大野木場小学校被災校舎を案内し、島原半島で生じた火山災害を学びました。学生の半分以上

3月22日(木)に島原中央高校の1、2年生が、地域貢献とボランティア活動に対する意識の高揚を目的として、地域清掃とジオパーク学習を行いました。

清掃活動しながら、われん川とふかえ桜パークを訪れ、認定ジオガイドから災害とそこに住む人の暮らしについて学びました。

「ジオだより」のメール配信をご希望の方は
info@unzen-geopark.jp
まで、お気軽にお申込みください。

Facebook ページでも配信中！



好天に恵まれ、半島のシンボル平成新山の説明に力が入るジオガイド草野さん。まだまだドーム3階展望デッキ

4月1日(日)「がまだすドーム」のリニューアルオープン記念に合わせて、認定ジオガイドが来館したお客様へ島原半島ジオパークの魅力を紹介しました。

県外や海外から訪れた約250名の方が、雲仙岳や市内の街並みを一望できる展望デッキや、館内のジオスペースなどで、期間限定の無料ガイドを楽しみました！

未来の地域を作る担い手に



ジオガイド満行さんによる定点の説明を聴く学生たち =大野木場砂防みらい館

中央高生ジオを学ぶ



活動後、みなで満足の集合写真 =われん川、深江町(文:ジオガイド永田ゆき子さん、写真:島原中央高校)

ジオガイド、オープン盛り上げる

「塩(ジオ)かすてら」

は、塩を使用した珍しいカステラ。美味しく塩分補給ができるスポーツする方にも人気のスイーツです。

商品化のきっかけは、小浜温泉街から小浜の塩を使ったスイーツ製作を依頼されたこと。橘湾の海水と小浜の温泉がブレンドされた小浜の塩を使うことで、生地がふわっと膨らみ、しっとり仕上がります。また、絶妙な塩加減が、カステラの甘さを引き立ててくれます。暑さが加わるこれからの季節にぜひ♪

4月7日(土) 1万5千人が犠牲となった寛政の大災害と平成の噴火災害の犠牲者を悼み、島原大変遭難者慰霊祭がしめやかに執り行われました。私たちは、過去の災害を乗り越え、ここに住み続けています。先人の叡智と努力を改めて感じる時間となりました。

が島原半島の訪問が初めてということもあり、多くの学生が島原半島地域に興味を持ってくれました。

★5月ジオ空教室★

第20回 ジオ空教室

平成30年 5月26日(土)

場所: がまだすドーム2階 ワンダラポ
時間: 13:30~16:00
講師: 長井 大輔 氏 (ジオだより編集長)

参加費: 500円(税別) (税別にかき氷付)

内容: 火山に関する実験やワークショップを通して、楽しみながら火山の仕組みを学びます。

【お問合せ】
島原半島ジオパーク協議会
TEL: 0957-65-5540

いよいよ始めます!! 古写真プロジェクト

雲仙温泉街の人々の暮らしを支えるオシドリ池がある場所は、昔は水田でした。また、島原市千本木地区は、お茶やハゼの樹が生え、夏はそうめん流しで賑わっていました。そんな風景を撮影した古い写真はありますか?

古い写真に刻まれた、かつてのふるさと姿や人々の暮らし、その写真を撮影した人や写っている人の思い出は、未来に残すべき大切な宝物です。写真とその写真にまつわるエピソードを守り、後世に伝えていく活動を行います。

【写真】
浜川川の石積み洗い場・昭和30年頃
写真寄贈: 江川照男さま

季刊誌「楽」特集 島原半島

長崎に住む独立したクリエイターがチームを組み、長崎県の文化や歴史を様々な切り口で紹介する「楽」に、島原半島が特集されました。豊穡な大地と自然の摂理に従い暮らす人々の姿、そしてその中で生活を営む人々の知恵を丁寧に描いています。

また2011年には、島原半島の多彩な食文化を紹介した特集も組まれました。どちらも、美しい写真満載の大変読み応えのある内容になっています。ぜひご覧ください!

季刊誌「楽」に関するお問合せは、イーズワークスさん (095-827-8960) まで☆